

公益活動報告書(市民活動実績報告書)(令和6年度)

令和7年3月5日

(宛先)岡崎市長

団体名 岡崎音楽ぐるーぷ

代表者 鈴木 淳宏

構成員 15人(※令和7年4月1日時点の構成員数)

団体の目的: 団体の会則・規約に定められた団体の目的を記入してください。

障がい児(者)の資質の向上を図ると共に、福祉レクリエーションに寄与することを目的とする

私達の団体が掲げる目的を実現した活動を、以下の項目に従って報告します。

なお、記載内容を一般に公開することに同意します。

■1 団体の活動目的達成に向けて、今年度はどのような活動をしましたか。(公益活動に限る)

活動日 又は期間	場所	公益を受けた ものは?	受益者 (会員以外) 人数※1	活動内容
主に月1回の活動 4月1日から 3月31日まで	りふら 103号室 創作室	①障がいを持つ当事者と そのご家族様 ②活動に参加する ボランティアの皆様	のべ 225人	・部屋の準備、子どもの誘導、音楽演奏(希望者様) 読み聞かせ、プラト作成の補助、安全、見守り。 ・活動を通して至福体験を得られるよう支援する。
5月11日	愛恵協会 なかいずみ	① " ② " ③ 会場の準備と出演者 が一体になって	200人	・出演の準備をお手伝いする。 ・小物・楽器 ・整列
12月14日	せきいホール	① " ② " ③ "	300人	・同上

※1 公益を受けたものが「人」ではない、数が把握できない場合は記載がなくてもよい。＜ex.自然環境＞

■2 前項1に基づき、1年間の団体活動で岡崎市(広く市民社会一般)に何をもたらしましたか。

・障がいを持つ人も持たない人も音楽療法で元気に暮らすことを知ってもらった。
・発表の機会、定例活動をより活気づけた。ボランティア様と当事者がエンターメンとして活動することで、社会性が広がった。
・発表、客席と出演者が音楽を通して一体化し、元々よく、自信を持つことにつながった。客席から活動の質問もしていた。

■3 今年度の活動の公益性を自己評価し、付随する質問にお答えください。

①公益性の度合いを自己評価してください(数字に○をつけてください)

高い ← ⑤ 4 3 2 1 → 低い

②上記の評価をした理由をお書きください。

・楽しくなければ音楽療法ではないと教えていた。
・受益者の多くが楽しく、温かな気持ちを感じ、幸福感に包まれたと伺った。

裏面の自己診断チェックリストもご記入ください。